

羅針盤

KANSAI GAIDAI KYOSHOKU JOURNAL

教職を目指す学生・卒業生のために

COMPASS

第 107 号 2015.4.25(土)発行

関西外国語大学
教職教育センター

SCET+

教員採用選考対策「夜スペシャル」がスタートしました

教職教育センター 所長 角野茂樹

桜の花が散り、初夏の匂いとともに、天の川の堤には「西洋ハナミズキ」が白やピンクの花を咲かせています。このハナミズキ(dog wood)の原産地は北米で、日本に入ってきたのは 1915 年。当時の東京市長の尾崎幸雄が米国ワシントン D.C へ桜を寄贈した際に、そのお返しとして日本に送られてきました。そのため、「返礼」の花言葉がつけられています。

そんな万物が芽吹く季節に、ICC では「夜スペシャル」、学研都市キャンパスでは「サイスペ」がスタートしました。4 回生を中心に、科目等履修生、3 回生が採用選考に向けて「教員になる」という熱い思いを持ち、教員になる「使命感」と「情熱」を傾けています。ICC では、教育時事問題への対応、教職教養・英語力アップ、面接対応のブルーファイルづくりに取り組んでいます。今年は 60 名ぐらいの学生が集まり、そこへ留学帰国生が合流し始めており、今後 80 名程度になる模様です。

7 月には、全国各地で教員採用選考の一次が始まり、9 月の終わりまで選考が続きます。まずは一次選考を突破し、二次選考に向けた真夏のサマースペシャルでも仲間とともに学び合いましょう。この長帳場を乗り切るためにも、自ら、目標を立て、自立・自律した取組を進め、自己実現を果たしていくことを期待しています。



【教育実習を直前に控えて】

「教員になる」という高い“大志”を持つ

英語キャリア学部 教授 岡澤潤次

先日、平成 27 年 4 月 18 日(土)に開催された教育実習直前ガイダンスからポイントを整理し、皆さんがこれからの教育実習に元気よく臨むことを期待し、エールを贈ります。

いよいよ、あと 1 ヶ月足らずで教育実習が始まります。準備が着々と進み、何かと緊張感とチャレンジ精神で日々過ごしているものと思います。あとは、きちんと最終点検をして不備を調整する段階かと思います。

そこで、あらためて、ガイダンスの要点を列挙しておきます。

1. 自己紹介を存分にかつ簡潔にしましょう

英語と日本語で、印象に残るようなスピーチを繰り返し練習してください。その日の帰宅後、生徒の家庭で、皆さんのことが話題にしてもらえることを念頭に置いて。内容としては、自分自身の中学校時代のこと、高校時代のこと、大学時代のこと、ボランティア活動で充実したこと、留学経験で学んだこと。部活動の思い出、なぜ教員を志望し、こんな教員になりたいことなど簡潔に話せるようにしてください。

2. 生徒理解に向けて自分から進んで生徒たちに話かけていきましょう。

例えば、生徒と一緒に掃除し、話しかける。廊下で生徒に会えば必ず話しかけるなど、皆さんの方から積極的に話しかけてください。

3. 生徒の名前をできる限り早く覚えましょう。

生徒の名前を覚えることで生徒とのコミュニケーションもとりやすくなります。自分のノートに教室の座席名簿を貼っておくと役に立ちます。できれば名前を3日間で覚えましょう。目立ちにくい生徒ほど先に。

4. 大学で学べないことを積極的に実践しましょう。

あらかじめ教育実習で取り組みたい課題を整理し、自分自身の「実習ノート」を用意して、その都度、自分の考えをまとめよう。

5. 「実習生だから許される」などとは決して考えないようにしよう。

先生方の指導助言を謙虚な気持ちで聞いてください。

6. 授業中は、「誰の助けも得られない」と肝に銘じておきましょう。

授業は、指導案通りには進みません。生徒から予想していないような質問が出ることもあり

ます。慌てないで、落ち着いて最後までやり遂げましょう。」

7. 教材研究をしっかりと、準備を過ぎるほど万全にしておきましょう。

良い授業は「仕込み」で決まると言われています。そのためにも、できるだけ早く教科書を事前に入手し、テープを繰り返し聴き、正しく発音できるように練習するなど、十分に学習しましょう。

8. 教育実習を終えた後、さわやかな満足感と、何とも言えない充実感を期待しましょう。

さわやかな満足感を味わうためにも教育実習中は全力で臨みましょう。

きっと、『絶対に教員になる』という強い気持ちが心の底から湧いてくるでしょう。

9. 大学で身に付けた指導方法を最大限に活用して、生徒が思わず身を乗り出すような授業に。

さすが関西外大の学生は一味違うという授業をしてもらいましょう。

新年度を迎えて（教職をめざす皆さんへ）

英語キャリア学部 教授 小寺正一

新しい年度を迎えました。気持ちを新たに目標に向かって学びを深めておられることと思います。

さて、これからの教育（とくに学校教育）について考えてみると、考えておくべき問題がいろいろあるように思えます。具体的には東京オリンピック開催もここ数年の教育のあり方に大きく影響するように思います。また、子どもの貧困の問題も、子どもの生活基盤に悪影響を及ぼし、学力定着・向上に、進学に、と多様な影響が出てくると思います。いじめも大きな社会問題です。また、情報化をめぐる問題はますます複雑化するように思います。このような現代的な教育問題について、情報機器を使って新しい情報を確実にキャッチすることや友人との情報交換も大切だと思います。

が、時には、いやできるだけ、情報機器から目を離して周りの実物をしっかり見つめることも心がけてはどうでしょうか。学内に限っても、歩きながら一心不乱にスマートフォンを操作しながら歩いている人（危険です）、教室内で授業開始直前まで機器を操作し続ける人が多いようです。機器から目を離して機器の画面とは違う景色を見ることも大切だと思います。たとえば、校門から教室棟までの学内の歩道の横には折々に手入れされた植物が花を咲かせ、葉色を輝かせています。それらを通じて機器から得るのとは異なった情報が得られるはずですよ。

教職をめざす皆さんには、自らの周りに幅広く目を向け、感性を磨くことも大切だと思うので、老婆心からの文章をつづりました。考えてみてください。（了）

Increase your Intrinsic Motivation. Keep your Challenge.

Believe in yourself to get your success.

採用試験合格をめざして、みんなで走り続けましょう。

英語国際学部 教授 西村孝彦

2020年東京オリンピック・パラリンピックを見据え、新たな英語教育が本格展開できるよう、「グローバル化に対応した英語教育改革」が昨年度から現在進行中であり、具体的には小学校における英語教育の拡充強化、中・高等学校における英語教育の高度化など、小・中・高等学校を通じた英語教育全体の抜本的充実を図る施策が推進されており、各都道府県においては多くの優秀な英語教員を獲得しようとしのぎを削っています。

英語教員をめざす皆さんはまさに今、その真ただ中におり、日本の英語教育改革の担い手として、非常に期待されている存在であります。昨年度全国で関西外国語大学卒業生の英語教員採用試験合格者は147名に上り、さらに全国で関西外国語大学卒業生の英語教員のすばらしいネットワーク（輪）が広がり、全国で卒業生が活躍し続けています。また、文部科学省及び各都道府県では海外の大学で *TESOL (Teaching English to the Speaker of other language)* を学び、日本の英語教育改革に貢献してもらうことを期待し、英語教員海外派遣の計画も活発化してきています。

みなさん、採用試験合格に向けて勉強ができるこの環境の中で、今、みんなで支えあい、励まし合いながら現役合格をめざしましょう。2020年以降は各都道府県とも募集人員が激減し、競争倍率が高くなるのは必至の状況です。まさに今がチャンスです。Now, get the chance! それぞれが自分を信じて、みんなで合格に向けて走り続けましょう。

先日 HP に学研都市キャンパスのサイスペ（採用試験対策スペシャル）講座について掲載していただきました。4回生、3回生で常時30人を超える参加者が集まり熱く教員をめざし、勉強

を続けています。

毎週月曜日と水曜日の6限（18:30～20:00）5階セミナールームで開講しています。月曜日は教職教養、水曜日は面接練習を中心に受験テクニックを学ぶのではなく、自分の理想の教師像を作り上げ、自然体で自分をアピールできるよう、学び続けています。外大生は誰でも、

いつからでも参加できます。みなさん集まって現役合格めざしましょう。

Go for it!

Believe in yourself
to get your success!
You can do it!

サイスペ（教員採用試験対策スペシャル）

春学期 合計 24日間 36時間コース

サイスペ（教員採用試験対策スペシャル講座）を開講します。

教師をめざす仲間と（Cooperative Learning）

平成27年 夏の採用試験合格をめざしましょう。

日程 毎週月曜日・水曜日（4月6日開始）

時間 6限 18:30～20:00（週3時間）

場所 本館5階セミナールーム

NISHIMURA

★日程詳細（春学期）

（月）4/6, 13, 27, 5/11, 18, 25, 6/1, 8, 15, 22, 29, 7/6,

（木）4/8, 15, 22, 5/13, 20, 27, 6/3, 10, 17, 24, 7/1, 7/8

★平成27年度採用試験現役合格めざし、是非参加しましょう。

（平成26年度現役合格者は全員サイスペ受講者）



「モチベーションを高めるために全員で現役合格をめざそう」と話している参加者



互いの目標をきくと伝える「3分間スピーチ」の様子



4年生の基幹英日訳がプレゼンのお手本を見せる



カルタを使って楽しみながら四字熟語の学習



様々なリーディング教材をペアで確認

（学研都市キャンパスサイスペ始動4月6日—写真はHPより）

新しい年度を迎えて

短期大学部 教授 明石一郎

春のキャンパスに新しい仲間が希望と不安を抱いて入学してきました。先輩学生のみなさんは、新入生の姿に数年前の自分を重ね、気持ちを一層高めているのではないのでしょうか。

今年度もスタートした「夜スペ」に集うみなさんの熱気と真摯に学ぶ姿勢に、教員志望のモチベーションの高さを感じます。

先日、短期大学部2年生の全体講話で、谷本榮子理事長・学長先生から「自校教育」と題して、本学70年の歩みを振り返り、関西外大が語学習得という実学と人間力の涵養を重んじ、時代と社会の要請に応える国際人の育成をめざして発展してきたことをお話しいただきました。講話の中で、世阿弥の「初心忘れるべからず」の言葉を引用され、一人ひとりの学生が日々の学業に全力で打ち込み精進することが必ず大きな成果を生むものとエールを送られました。

教員をめざす学生のみなさんも、「日々初心」の気持ちで本学の素晴らしい環境の下、多くの仲間と共に学びを深め、教員採用選考試験の合格めざしてがんばりましょう！

夢ある人に目標あり、目標ある人に計画あり、計画ある人に実行あり、実行ある人に成果あり、成果ある人に幸せあり、幸せある人にロマンあり、ロマンある人に夢がある。

先輩からのメッセージ

大阪府立八尾北高等学校 教諭 小谷延良

(外国語学部英米語学科 平成18年3月卒業)

皆さま、はじめまして。八尾北高等学校に勤務しております英語科の小谷延良（コタニノブヨシ）と申します。このたびはおおよそ4年ぶりに羅針盤に投稿させていただけるということで、微力ではありますが教職課程で学ばれている学生の方にお役に立てればという思いでペンを取らせていただきました。

まずはじめに簡単に自己紹介をさせていただきます。

2006年に英米語学部を卒業し、1年間非常勤講師を経験した後、その年に採用試験に合格し2007年度より教諭として採用されました。2011年から3年間の休職制度を利用してオーストラリアの大学院に留学、2014年度の秋から復職し現在に至ります。

今回私が書かせていただく内容は「いかにして自身の理想とする教育を実践するか」ということです。言い換えれば、どのようにすれば児童・生徒を引き付け、理想とする教育活動を実現できるかと

ということです。やはり1番の方法は児童・生徒から「信頼を得る」ということです。誰もそうだと思いますが、信頼の置ける人や尊敬する人の話には耳を傾け、アドバイスや指導を受け入れると思います。これは学校教育に関しても同様で、ある先生の指導は聞かすが、ある先生の指導には従わないというケースも多くあります。

では、どのようにすれば児童・生徒、そして保護者の信頼を得ることができるのでしょうか。そのためにはタイトルにあるように教員として必要な2つの柱を持ち合わせておく必要があります。その2つの柱とは「人間力」と「授業力」です。では簡単にそれぞれの力について説明させていただきます。

1. 「人間力」

抽象的な言葉ですが言い換えると、尊敬され一目置かれるような姿、つまり「人格」と言えます。「人間力」が高い人はどのような特徴を持っているのでしょうか。具体的に言うと主に以下の項目が挙げられます。

- ぶれない「教育理念」、「信念」を持っている。
- 当たり前のことを高いレベルで実践できる。
- 児童・生徒に対して感謝と尊敬の気持ちを持っている。
- 損得ではなく善悪で判断し行動できる。
- 他者を元気づけるような建設的な発言が多い（愚痴や文句は言わない）。
- 身の回りが常に整理整頓されている。
- 自身の能力に対して謙虚である。
- 素直である。
- 柔軟である（考えに固執しすぎない）。
- 経営術に精通している（クラス運営、部活動経営）。
- 常に日々自己研鑽を行っている。
- 早寝早起きを心がけている。
- 率先垂範して行動ができる。
- 娯楽よりも自己研鑽に費やす時間のほうが多い。
- 自分の能力やスキルアップに投資を惜しまない（自己投資）。
- 児童・生徒に対して素直に「ごめんなさい」が言える。

いかがでしょうか。代表的なものを挙げさせていただきましたが、これらの項目に共通することは何だと思われますか。それは全ての項目が「誰にでもできる」ということです。一部の優秀な教員にしかできないような項目は一つもありません。つまり気持ちの持ちようですぐにでも改善、実践できる項目です。私はこのような当たり前のようなことを高いレベルでできる教師が児童・生徒の生き方モデルとなることができると考えています。特に注意すべき点は学校だけでそのように振る舞えばよいということではありません。日常生活からひとつでも多くこういったことを意識することが重要なのです。一気に実践することは難しいかもしれませんが、一つ一つ着実に実践することで、それが習慣になることで自動化し、最終的には意識せずとも自然に行動できるようになります。こうい

った考え方や日々の行動を少し変えるだけで、教育や指導の質が大きく変わります。このような教師の細かな一つ一つの言動には、児童・生徒は教師が思っているよりも非常に敏感で、すぐに気づきます。私も普段から表情には出さないようにしていますが、生徒から「先生、今日疲れてるみたいですね」や「調子悪いんですか」などと声をかけられたことがあります。自分では普段どおり振舞っているつもりでも児童・生徒は日々教師の一挙手一投足に敏感で、気づく能力が高いのです。もし上記に挙げた項目で不十分な項目があれば教壇に立たれる前に一つでも多く自動化するように是非今日から実践してみてください。

2. 「授業力」

これは言うまでもありませんが、教員として絶対に揺らいではいけない力です。当然のことながら授業力には高い専門教養力も含まれます。校種に関係なく、一プロ英語教員として誇れるような英語力や指導力は持ち合わせていなければいけません。教員採用試験を受けられる方の中には「英語力にはあまり自信がないんです」といわれる方がいらっしゃいますが、そう思われる方は教員になってはいけません。力のない教員の授業を受けなければいけないことほど生徒にとって不幸なことはありません。厳しい言い方かもしれませんが、英語教員と名乗っているのに英語力が乏しいというのはある意味詐欺のようなものです。昨今では中学で英検準1級、高校生で1級を取得する生徒も珍しくありませんし、英語の得意な生徒が集まる高等学校では英検準1級を持っていてもなんら不思議ではありません。よって英語教員を旨とするのであれば大学時に最低でも英検準1級や TOEIC 840、TOEFL iBT80（もはや PBT で高得点を取ってもあまり価値がありません）、IELTS 6.5 などの資格やスコアは取得しておきましょう。文科省が発表した 2020 年のセンター試験廃止に伴い、今後外部試験やみなし満点制度（指定の外部試験において一定のスコアを満たせば、英語のスコアを満点としたり免除する制度）の積極的な導入が予測されることから、特に高等学校の英語教員を旨とする人にとってこれらの外部試験に精通しておくことは不可欠となります。大学時からはもちろんのこと、教員になってからも、日々の勉強や、研修会やセミナーへの参加、教材研究などあらゆる機会を利用して自己研鑽に努めてほしいと思います。その結果、自身の指導力と専門教養力が高まることで幅広い質の高い授業が展開でき、その結果児童・生徒からの「信頼」へとつながるのです。

最後に

少し辛辣な内容も書きましたが、実際のところ私自身も上手くいかないことや壁にぶつかることもあります。しかし日々の研鑽により、失敗するリスクや回数を減らし、その結果高いパフォーマンスにつながっていると考えています。将来みなさんが現場に入られて児童・生徒が指導に従わなかったり、自身の指導が上手く伝わらないことがあると思いますし、いくら正しいことを実践しようとしても何らかのしがらみや障害などが原因で上手く機能しないこともあるかもしれません。しかしそんな時こそ他人や外的要因のせいにするのではなく、まずは先に述べた「人間力」と「授業力」の観点から自分自身を見つめ直してください。障害を取り除くことや環境を変えることは容易ではありませんが、自身の取り組みや考え方を変えること、つまり「主体変容」は可能です。皆さんの普段の地道な自己研鑽により自分のレベルが上がり、そうすることで質の高い指導ができ、その結果理想とする生

徒が育つということです。また、何事も通じることですが、「準備力の高さとパフォーマンスの精度は比例している」ので、教壇に立ってからではなく学生時からこの2本の柱を磨いておいてください。そして「自分を磨くことで他者が磨かれる」ということを覚えておいてください。私自身もまだまだ発展途上ですし、もっと学びを深めていかなければいけないと痛感する毎日です。日本の教育をさらに良くするためには高い指導力と志を持った教師の存在が不可欠です。私自身も微力ではありますがそのような先生方と切磋琢磨して共に高めあいながら日々教育に邁進していきたいと思っております。そして学生の方に負けないように今後も自己の研鑽を怠らず高い学びを実践していく決意です。明日の日本のために共に頑張りましょう。ありがとうございました。

本年度教員採用試験を受験する学生から

本年度、教員採用試験を受験する皆さんの教員採用試験への取り組みや意気込みです！

中西 啓太 さん **外国語学部 英米語学科 4回生**

「夜スぺに参加して、私の抱負！」

はじめに夜スぺの意義を考えたときに、角野先生がおっしゃった「座辺師友」という言葉が頭に浮かびました。自分の辺りに座っている人たちは、私の友であると同時に師でもあるという意味が夜スぺにふさわしいなと思えました。一人では勉強が行き詰ったりモチベーションが上がらなかつたりするところを、仲間と集まることにより、効率よく勉強できると思います。討論や面接など一人ではできないこともあるので、この仲間との集まりを大切にしていきたいです。

そしてこの仲間たちと共に高め合っていくことを願いながら、日々勉強してまいります。教員採用選考テストまでの残されたわずかな時間で最善の努力を尽くします。そして、試験後も自分に付加価値を付ける努力を怠らず、最高の形で学生生活を修了したいと思っております。よろしくお願いたします。

山下 愛 さん **外国語学部 英米語学科 科目等履修生**

「私の目標」

私は夜スぺに参加するにあたって大きく二つの目標があります。一つ目は、教員採用試験を合格することです。特に夜スぺでは、教師をみぞす仲間がたくさんいます。その中で考えを聞くことができます。自分の考えを整理して話す力を身に着けると同時に、自分と違った角度から考えている人の意見を聞いてどんな教師になりたいか、自分の教師像を深めていきたいです。

二つ目は、当たり前のことですが周りの先生や友達などの環境に感謝することです。一人では、

モチベーションが下がることもあったり、知らないこともたくさんあったりします。私は、科目等履修生で普通の人より1年長く大学に通っています。そんな私をサポートしてくれる家族、先生、一緒にがんばって勉強している友達、すべての人に感謝をする気持ちを忘れません。また、そう思うことで一層やる気を持って取り組みます。

藤原 愛 さん

外国語学部 英米語学科 4 回生

「教採に向けて」

私は教員採用試験に向けて取り組んでいることは三つあります。まず、同じ教員を目指す仲間と一緒に勉強することで、自分の中にはない考え方や意見を共有することが出来ます。また、「教師になる!」といった同じ目標を持っているため、仲間が勉学に励む姿を見ることで自分のモチベーションにもつながります。

二つ目に、先生方との交流を大切にしています。角野先生をはじめたくさんの先生方からいろんな情報をいただく機会はとても大切だと思います。先生方から教えていただくことは、これから生きていく上で、とても役にたつことだと感じます。

最後に、私を応援し支えてくれるすべての方々に感謝することです。今の自分があるのは周りにいる方のおかげであることも自覚し、自分の目標に向けてやるべきことをしっかりしていきたいと思っています。

吉岡優作 さん

国際言語学部 国際言語コミュニケーション学科 4回生

「仲間と共に」

私は中学生の頃より英語の教師になりたいと思っていましたが、それは漠然とした将来の夢でした。大学生となり教職課程を履修しましたが「本当にこのままでいいのか」という不安を持っていました。そんなとき西村先生や友人からサイスペの存在を聞き、一度覗いてみようと思い、私は放課後セミナールームに足を運びました。そこで体験したことは驚くべきものでした。西村先生は「ここはテクニックを学ぶ場ではない、モチベーションを高める場である。」と力強く話していました。そしてそこには教師を目指すたくさんの先輩たちがいました。先輩たちは力強く、自信を持ちながら自分が教師になりたい理由を話していました。そのような姿を見ていると、私の不安もどこかへ行ってしまい絶対に教師になろうという気持ちがどんどんと強くなっていきました。

秋学期からは面接の練習と並行しながら、12月に実施されたチャレンジテストに向けた教職教養についても勉強しました。チャレンジテストでは残念ながら合格することはできませんでし

たが、西村先生の「合格ができなくても解くことができた問題に対してはしっかりと自信を持つことが大切だ。」という言葉に助けられました。

春休みに開かれた9日間のサイスペでは、自分が4回生となり教員採用試験が近づいていることを感じ、もっと勉強を頑張り、絶対に合格するぞというモチベーションもさらに高くなりました。

サイスペには西村先生をはじめ、志を共にするたくさんの仲間たちがいます。教師になるための勉強は決して楽なものではありません。ときには勉強を投げ出したくなることや、本当に合格することができるのだろうかと思うこともあります。しかし、そんな時に「大丈夫だ。頑張ろう」と励ましてくれ背中を押してくれる先生や仲間たちがいるからこそ、私は今まで勉強を頑張ってきたのだと思います。

教員採用試験まであと約3か月ですが、サイスペの仲間たちとともに励ましあい、絶対に合格するぞというモチベーションを持ち、お互いに教師の資質を高めていきたいと思っています。

高岡 尚真 さん

国際言語学部 国際言語コミュニケーション学科 4回生

「教員採用試験に向けて」

こんにちは。国際言語学部4回生の高岡 尚真と申します。

この度、教員採用試験への意気込みをこの紙面をお借りして述べさせていただこうと思います。

私事で恐縮なのですが、私が教員になりたい！と思い始めたのは、私が小学生の頃からでした。その時はただ単純に友達に何かを教えるのが楽しい！といった漠然な動機でした。高校に入学してからその漠然とした動機は数々の素晴らしい先生方の下でどんどん具体化されていき、この関西外国語大学でも迷うことなく教職課程を履修しました。

そして、大学生活も半分が過ぎ去ろうとするとき、友達から誘われたのがきっかけで、学研都市キャンパスで西村先生が行っているサイスペに冬休みに参加することにしました。そこでの内容は自分にとって刺激的なものでした。自分の考えを人前で堂々と話されている先輩方、同じ志でもって共に頑張る仲間、そして何より西村先生の教育というものに対する情熱、何もかもが新鮮なものでした。特に先輩たちの話しぶりを見させていただいて、その姿に憧れを抱き、自分も一年後にこういう風に話せるようになりたいなといった目標もできました。

その体験以来、私の中の心に火がついたような気がしました。三回生の秋学期からサイスペに参加し、何度も面接練習などを行った結果、今では人前で自分の意見を話すことに対して、良い意味での緊張感を持ちながらも堂々と話すことができていると思います。西村先生が「このサイスペはテクニックを学ぶ場ではない。自分のなりたい教師像を作り上げていく場である。」と常々言っておられます。本当にその通りだと思います。サイスペの場で自分のなりたい教師像、常に広い視点で子どもたちを見る教師というのが明確になりました。また共に助け合い、励ましあいながら教員採用試験に向かっていく仲間もできました。

教員採用試験はもちろん簡単なものではないと思います。正直、これで本当に大丈夫なのかという不安もあります。そんな時には私のモットーを思い出すようにしています。南アフリカ共和国の政治家 Nelson Mandela(ネルソン・マンデラ)さんの「It always seems impossible until it's done.」(何事も成功するまでは不可能に思えるものである。)という言葉です。この言葉を胸に教員採用試験合格に向けて、またその先にいる子どもたちのためにも仲間と共に全力を尽くします。

二宮瑞葵 さん

国際言語学部 国際言語コミュニケーション学科 4回生

「努力すれば夢はかなう！」

私は入学した当初は自分が4回生になったらこんなにも一生懸命夢に向かって勉強に取り組んでいるとは想像もしていませんでした。しかし今は絶対に教師になりたいという熱い思いがあります。私の意識が変わったのは2年生の夏から参加した『サイスペ』のおかげです。西村先生やサイスペの先輩方の「教師になるための本気」の姿を目の当たりにして、ぼんやりとしていた夢がはっきりとした目標に変わりました。昨年からは教職教養や面接練習などをしてきました。そして今年の4月からはたくさんの同じ目標を持った仲間達と共に一生懸命勉強しています。そのことについて以下に述べたいと思います。

サイスペでは冬の3日間の勉強会や4月からは月曜日には教職教養中心に勉強し水曜日には面接練習を行っています。サイスペでは問題集を解き完璧な面接方法を学ぶのではなく、教員になりたいという意欲を高め自ら学ぶきっかけや努力し続けるためにモチベーションをあげることが出来ます。西村先生の数々の名言の中で「Don't be afraid of making mistakes」や「Don't compare with others」など自分の気持ちを高め自分に自信を持ち続けることができる言葉があります。どんなに迷ったり自信をなくしたりしてもこの1年半前に突き進んでいくことが出来ました。私はこの言葉を信じてこれからの教員採用試験に向けて突き進んでいきたいと思っています。

そして今、私にはたくさんの同じベクトルの仲間たちがいます。図書館開館から閉館まで励ましあいながら努力し勉強し続けています。教職教養や一般教養そして面接力なども仲間がいなければ私はこんなにもできなかったと思います。仲間や先生を信じて教員採用試験に挑みたいと思います。

昨年、サイスペの多くの先輩方が見事合格されました。その勢いによって今年全員合格を目標に皆で協力し頑張りたいと思います。現在の三年生や二年生は私が昔サイスペでたくさんの先輩方にお世話になりいろいろなことを教えてもらったようにどんな質問でもいいのでしてほしいなと思います。サイスペをもっと活気づけ仲間と共に合格へ努力し続けるような勉強法をこれからも続けていきたいと思っています。そのような環境を与え続けてくれる西村先生に感謝します。

「本気で努力し続ければ必ず夢は叶う！！」と言い聞かせ努力し続けます。

會津瑛里果 さん

国際言語学部 国際言語コミュニケーション学科 4回生

「常に全力。常に努力」

こんにちは。4回生の會津です。今回は私の「教員採用試験への意気込み」をみなさんにお伝えしたいと思います。

私は関西外国語大学に入学する前から教職に強い憧れがありました。しかし、教員採用試験について特に行動を起こしておらず、2回生の春休みに何か始めようと決意しました。

3回生の春学期から西村先生が主催の「サイズペ」に通うことにしました。そこで私が見たのは先輩方の「本気」でした。教職教養はもちろん、面接も堂々としていて来年自分が先輩方のようになれるのかという不安で押しつぶされそうでした。しかし、何から始めればいいのかも分からず、誰にも頼れず1人で抱え込んでいました。

そんな私を助けてくれたのが「仲間」でした。「先輩たちに追いつけるように一緒に勉強しよう」と声をかけてくれ、そこからお互い時間が空いていれば常に勉強をしていました。休日でも勉強をして、おかげで教職教養の勉強が捗ることはもちろん、私にとって仲間が不可欠な存在になりました。また、困ったことがあれば先輩に相談し、たくさんのアドバイスをもらいました。多くの先輩方や西村先生が「仲間がいなければ採用試験は乗り越えられない」とおっしゃっていたのですが、今の私は、心からその言葉に共感します。たまにネガティブになってしまう私を助けてくれたのは、いつも私の傍にいた仲間たちでした。

こうして今日まで頑張ってきたことができました。この1年で自分は大きく変わったと思います。1人で悩んで行き詰ることがなくなったので、考えもポジティブになりました。もちろん、今でも不安に負けそうになるときもありますが、私の周りにはたくさんの仲間がいて、いつでも助けてくれます。西村先生もいつもポジティブな声をかけてくださるので、本当にいい環境に恵まれているのだと思います。

関西外国語大学は「仲間」に出会える機会がたくさんあり、教員採用試験を乗り越えようと思ったなら、ぜひそのチャンスを逃さず活用してほしいと伝えたいです。私はサイズペ、教職合宿、教職英語研修など多くの機会を通して仲間を増やしていけました。

教職英語研修では、オールイングリッシュで授業をして、本当に貴重な体験ができました。また、その中で中宮の仲間と教師に対する思いを語ったり、教職について意欲を高めあえたりしたことも貴重な時間でした。

去年先輩から「常に全力。常に努力」という言葉をいただき、どんなときでもその言葉を忘れず頑張っています。もう教員採用試験は目前に迫っていますが、たくさんの仲間たちと一緒に頑張っていて、みんなで合格を勝ち取りたいです！

シリーズ⑦「心の窓を少し開いて！」

【学級開き】

新年度を迎え、「担任する子どもたちはどんな子どもたちだろうか」とワクワクする反面、「学級づくりがうまくいかなかったらどうしよう」など、不安や心配も湧いてきます。

子どもたちも同様です。新しい先生や同級生との出会いの期待と共に、「友だちができるだろうか」「先生に認めてもらえるだろうか」など、不安な気持ちを抱えながら登校しています。先生は、やさしい人か、こわい人か、おもしろい人か、冷たい人か、子どもたちは見つけています。そして、「印象のいい先生だ」と思えば、翌日から安心して学校に来ることができるのです。

子どもたちが何の心配もせずに学校へ来られるよう、初めの出会いを大切にしたいものです。学級のすべての子どもたちを自分の懐に快く迎え入れること、それが「学級開き」です。

まず自分を語ることから始めましょう。

担任がどんなことを考えているのか、自ら語ることで子どもたちは、あなたに一步近づきます。どんな表情でどんな話を、どんな接し方で行うのかを前もって考えておきましょう。

例えば、話す内容を学級通信「自己紹介号」にまとめるのもいいです。

- ・先生の名前とその由来、(名前にこめられた保護者の思い)
- ・小さい頃、どんな子どもだったか
- ・好きな事、苦手な事、好きな食べ物など
- ・1年間でどんな学級にしたいか
- ・どんな事をほめたり叱ったりするかなど

学校生活がスタートしたら、授業中や休憩や給食、掃除の時間など、一人ひとりの子どもに声をかけ、良いところをほめましょう。

- ・背筋がのびて良い姿勢ですわっている
- ・先生の顔を見ながら、話を聞いている
- ・みんなで仲良く遊んでいる
- ・上靴をそろえている
- ・箒で掃いたり水拭き雑巾で丁寧に掃除している

など具体的にタイムリーにほめることです。

また、忙しさに紛れてすっかり「忘れる」というミスをしないように注意しましょう。特に配布物・連絡事項などを忘れないようにすることです。連絡ミスが重なると保護者の不安を招きます。配布物は前日に整理・確認し、教務ノートなどにメモする習慣をつけましょう。

他にも気をつけたい細かなことがたくさんありますが、学年や担当グループの先生たちと打ち合わせをし、体調管理にも気を配りながら毎日元気に職場に行きましょう。

事務局からの連絡事項

① 教員採用試験対策セミナー（春合宿）

5月16日（土）、17日（日）の2日間、学研都市キャンパスのセミナーハウスにおいて、教員採用試験の合格を目指す学生が一同に集まり、集中対策講座を行います。本学の先生方からの熱い指導に加え、本学卒業生の現職教員の方々からの指導も受けることができる絶好の機会です。

教員採用試験を受験する学生は是非、参加してください。

申込期間：4月14日（火）～5月8日（金）

参加費：2000円（科目等履修生は3000円）

申込場所：教職教育センター（中宮キャンパス）、学務課（学研都市キャンパス）

② 学習支援センターについて

【中宮キャンパス】

・英語学習全般について個別指導・少人数指導

大学での英語学習に関する疑問や質問に細かに対応します。

対象科目：Integrated English、College English Grammar、TOEFL 演習、TOEIC 演習

日 時：月～金 9：00～17：00

申 込：学期単位で随時受け付けます。特に英語力に不安を抱えている学生を優先します。

・Summer Class 英文法・基礎講座（短期大学部学生対象）

内 容：夏期休暇期間を利用し、TOEFL に出題される文法の基礎内容を学習します。

日 時：8月24日（月）～8月28日（金）

申 込：7月13日（月）～7月22日（水） 9：00～17：00

中宮キャンパス6号館（ICC） 2階 学習支援センター

※講座内容の詳細については別途連絡します。

・Winter Class TOEFL 応用講座（短期大学部学生対象）

内 容：春期休暇期間を利用し、TOEFL に出題される文法と長文の応用問題を学習します。

日 時：2016年2月1日（月）～2月5日（金）

申 込：2016年1月18日（月）～1月26日（火） 9：00～17：00

中宮キャンパス6号館（ICC） 2階 学習支援センター

※講座内容の詳細については別途連絡します。

【学研都市キャンパス】

・個別学習、相談

(個別学習) TOEFL・TOEIC・英検などの学習会を、個人・少人数単位で開講しています。

(個別相談) 英語、その他の分野の個別質問や学習法の相談に応じています。

- ・ただし、大学の授業内容そのものの質問は、授業担当の先生に尋ねましょう。
- ・提出用の課題の添削など、評価に直接かかわることもお手伝いできません。

開室時間：月～金 9：20～17：20

申 込：予約不要（人数が多いときは時間調整もあります。）

・Summer Class（目指せ TOEFL450 点！）

内 容：夏期休暇を利用して、TOEFL 対策学習の方法と実際を体験します。

期 間：9月7日（月）～9月10日（木）

※詳細は後日お知らせします

・Winter Class（TOEFL450 点対策クリニック）

内 容：春期休暇を利用して、TOEFL が伸び悩んでいる方の学習診断をします。

期 間：2016年2月1日（月）～2月5日（金）

※詳細は後日お知らせします

③ 第2回教育実習ガイダンス

来年度教育実習を予定している学生を対象に教育実習ガイダンスを行います。対象者は必ず参加してください。

日 時：5月16日（土） 13：00より3時間

詳細は掲示板を確認してください。

注意事項：ガイダンスはスーツで参加してください。

※遅刻・欠席は厳禁です。

④ 大阪教志セミナー募集説明会（大阪府教育センター主催）

日 時：4月27日（月） 17：00～17：40（予定）

場 所：中宮キャンパス6号館（ICC） 6207教室

⑤ 学生人材バンク交流会

教職教育センターが実施しているさまざまなプログラムに参加してみたいと考えている人、参加しようか少し迷っている人、経験者から『本当のプログラム内容』を聞いてみませんか。実際に参加して良かったこと、大変だったことなど、何でも質問を受け付けます。

興味がある学生はぜひ参加してください。

日 時：5月13日（水） 17：00～18：00

場 所：中宮キャンパス6号館（ICC） 6105教室

編集後記——教職教育センターより——

4月になり花が咲き乱れ、ウグイスの軽快な鳴き声が響き渡り、心地よい陽の光が差し込む季節となりました。

春を迎えるたびに、日本の四季の素晴らしさを感じます。

まさに、「春眠暁を覚えず」です。

新年度は、環境の変化が多い時期です。5月病はこの環境の変化の対応をした結果のストレスが原因とも言われます。今一度、現在の生活習慣を見直してください。